

教育環境の充実を図ります



学校施設の整備・改修

人口増加に伴い、児童・生徒数も増える合志市。それに伴う教室不足などの解消に努めてきました。令和3年4月、教育環境を充実させるために、「合志楓の森小学校」と「合志楓の森中学校」を分離新設しました。既存の学校でも、増改築や老朽化対策を実施しているほか、県内の自治体でも保護者負担がなく早期にエアコンを設置するなど、子どもたちにとって安全・安心で快適な環境を実現しています。

【問い合わせ】 学校教育課 TEL 096-248-2366



合志市電子ライブラリー

令和3年度から児童・生徒1人に1台タブレット端末を配布。オンラインでの授業の配信や、児童・生徒間でファイルを共同編集するなど、活用しています。さらに、新聞記事を基にしたコンテンツを児童・生徒のタブレットに配信する「合志市電子ライブラリー」を導入。地域や熊本のことを学ぶもので、家庭での自学自習、授業で活用することが期待されます。ICT機器を児童・生徒が適切・安全に使えるよう、情報モラル教育にも取り組んでいます。

【問い合わせ】 企画課 TEL 096-248-1813



ハンセン病問題を学ぶ

合志楓の森小・中学校には、住民にも開放される「地域交流室」があります。ここで開かれたのが、菊池恵楓園入所者の絵画クラブ「金陽会」の絵画展です。自由に外に出ることができなかった入所者の皆さんが、故郷や思い出の情景を独学で描いた貴重な絵画作品の数々。鑑賞した児童・生徒や市民に強い印象を与えた絵画展は、ハンセン病問題を知り、学ぶきっかけとなりました。

市では、ハンセン病問題をはじめ、さまざまな人権問題について啓発活動に取り組んでいます。

【問い合わせ】 人権啓発教育課 TEL 096-248-2399

健康寿命を延ばします



合志市や関連企業で構成し、健康増進に取り組む団体「ウェルネスシティこうし」。専用端末を身に着けて「健康活動量」を測定する「バーチャルウォーキング大会」や、測定機器を使って日々の野菜の摂取量を評価する「ベジチェック測定会」など、全国的にも珍しい、「運動」と「食」に着目した取り組みを行なっています。市民の健康寿命を延ばすよう、「数値の見える化」に力を入れた取り組みを進めます。

【問い合わせ】 秘書政策課 TEL 096-248-1028



生活習慣病の予防を



運動不足や、偏った食事が原因となる生活習慣病。発症や重症化を防ぐため、国民健康保険制度の加入者に、腹囲や血圧の測定、血液検査などの特定健診を行なっています。40歳、45歳、50歳、55歳の市民に、特定健診を受けられる無料クーポン券を配布。受診した人には、ユーパレス弁天の施設利用補助券を発行しています。

【問い合わせ】 健康づくり推進課 TEL 096-248-1173



インフルエンザ予防接種費用助成

インフルエンザの予防接種は、発症や、発症しても重症化を防ぐことが確認されています。合志市では、国が定める定期予防接種の対象となる65歳以上の方だけでなく、生後6か月から65歳未満の方にも、接種費用を助成し、自己負担の軽減を図っています。予防接種期間は、例年10月から12月です。

【問い合わせ】 健康づくり推進課 TEL 096-248-1173



ポストに投函「大腸がん検診」



合志市では、「大腸肛門病センター高野病院」と包括連携協定を結び、「大腸がんによる死亡者ゼロ」を目指しています。大腸がんは、症状がない時の検診が重要です。検診に行く時間が取れない人でも、ポストに投函するだけで検査が受けられるよう、毎年1月頃に対象者を絞って、検診セットをお送りしています。年に1度の検診で予防に努めましょう。

【問い合わせ】 健康づくり推進課 TEL 096-248-1173

